

グラフィクス EPS の表示

AH Formatter は、Encapsulated PostScript (EPS) に対応しています。EPS に表示イメージがあるとき、そのイメージを出力します。表示イメージが存在しない場合は、代替画像に置き換えられます。ただし、Adobe Distiller や PS プリンタへの出力は表示イメージではなく、EPS 中の PostScript プログラムを出力します。EPS を PDF へ出力するとき、オプション設定ファイル EPS-processor の設定により、Adobe Distiller や Ghostscript がインストールされている環境では、それらを利用できます。そのとき、EPS を PDF として PDF へ埋め込みます。

表示イメージがある EPS

Sample EPS

表示イメージがない EPS

Sample EPS

表示イメージがある EPS



表示イメージがない EPS



オプション設定ファイル EPS-processor を設定せず
出力した表示イメージがある EPS とない EPS の例

また、FO 中に EPS コードを直接記述できます。
Adobe Distiller など、EPS コードをそのまま PDF
に埋め込むことができます。EPS コードの記述は、
<fo:instream-foreign-object> を利用します。次の
EPS は、右側のカラム内の EPS コードを FO 内に記
述した結果です。



EPS コード

```
<fo:instream-foreign-object>
<![CDATA[!PS-Adobe-3.0 EPSF-3.0
%%BoundingBox: 0 0 84 43
%%Pages: 0
%%Creator: Antenna House
%%Title: Green Rounded Box
%%CreationDate: 10 Feb 2003
%%LanguageLevel: 2
%%EndComments
%%BeginProlog
%%EndProlog
%%BeginSetup
%%EndSetup
%%Page: 1 1
%%BeginPageSetup
%%EndPageSetup
0 128 0 setrgbcolor
0.1 setlinewidth
newpath
0 5 moveto
0 43 84 43 5 arc
84 43 84 0 5 arc
84 0 0 0 5 arc
0 0 0 43 5 arc
closepath
gsave
stroke
grestore
fill
%%PageTrailer
%%Trailer
%%EOF
]]>
</fo:instream-foreign-object>
```